



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月21日

上場会社名 デザインエクスチェンジ

上場取引所 東

コード番号 4794 URL <http://www.designexchange.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 森谷 一彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 前田 雅弘

TEL 03-5458-7038

四半期報告書提出予定日 平成22年9月15日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年12月期第2四半期 | 171 | △14.9 | △111 | — | △104 | — | △150 | — |
| 21年12月期第2四半期 | 201 | — | △256 | — | △284 | — | △285 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年12月期第2四半期 | △67.51 | — |
| 21年12月期第2四半期 | △173.05 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-----|------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年12月期第2四半期 | 149 | △786 | — | △834.06 |
| 21年12月期 | 294 | △666 | — | △706.97 |

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 一百万円 21年12月期 一百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 22年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 22年12月期 (予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-----|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 336 | 92.1 | △198 | — | △201 | — | △201 | — | △213.28 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.**「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）」

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期2Q 944,250株 21年12月期 904,550株

② 期末自己株式数 22年12月期2Q 1,838株 21年12月期 1,838株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期2Q 942,412株 21年12月期2Q 902,712株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) セグメント情報 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間（平成22年4月1日～平成22年6月30日）におけるわが国経済は、中国の高い経済成長率を背景としたアジア向けの輸出拡大等により、企業収益は穏やかな回復基調となりました。しかし、国内個人消費は、緩やかな改善傾向が見受けられておりますが、可処分所得水準の下降などにより低迷状態が続いております。

国内企業のソフトウェアへの投資も下げ止まりの兆候が見られるものの、広告宣伝への需要の長引く冷え込みは当社のコンテンツ需要への回復の遅れにつながっております。

事業別の状況は次のとおりであります。

（デザイン事業）

Webコマース事業では、デジタル素材販売サイト「DEX WEB（www.dex.ne.jp）」を運営しておりますが、当第2四半期連結会計期間においても、同ポータルサイトにおける「満タンWEB」、「DEX font」及び「DEX IMAGE」商品の売上高は低迷しております。

サービス事業では、携帯電話内蔵用コンテンツの制作など事業会社からの注文を受けておりますが、事業会社の業績悪化に伴う販売促進費の削減により受注単価等が低下し、売上高が低迷しております。

電子書籍事業では、大手携帯電話会社3社の公式サイトとして「コミック満タン」の配信を行っており、ハイクオリティーで多彩なフルカラーコミック、臨場感溢れるサウンドなど、漫画・アニメ世代の期待を超えたケータイコミックを配信しておりますが、売上高は低迷した状態が続きました。

（システムインテグレーション事業）

経済環境の悪化により、当第2四半期連結会計期間においても大幅な収益増加につながる案件は発生いたしませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、連結売上高85,071千円（前年同四半期比14.0%減）、連結売上総利益65,694千円（前年同四半期比30.9%増）、連結営業損失41,673千円（前年同四半期は連結営業損失109,975千円）、連結経常損失29,394千円（前年同四半期は連結経常損失110,034千円）となりました。更に、法人税、住民税及び事業税などを加減算した結果、四半期純損失は63,625千円（前年同四半期は四半期純損失109,598千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、149,448千円となり、前連結会計年度末（294,445千円）に比べて144,997千円減少しております。これは主に、未収還付消費税が89,646千円減少したことによるものです。

負債は、935,476千円となり、前連結会計年度末（960,701千円）に比べて25,225千円減少しております。これは主に、為替変動による長期借入金の減少によります。

純資産は、△786,028千円となり、前連結会計年度末（△666,256千円）に比べて119,772千円減少しました。これは主に、税金等調整前四半期純損失150,044千円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社の主力商品であり売上の大半を占める満タンシリーズの販売は、企業の広告宣伝費や販売促進費の抑制による発注の小口化、当社販売サイトを通じての売上低迷、当社営業部門の売上不振、等の要因により低下傾向にあります。

これらを早期に改善するために、当社では本年前半より販売強化戦略に取り組んでおり、各種マーケティング戦略の強化、優秀な人材の採用および社員教育等の強化策の立案実施等を進めてまいります。

また黒澤コンテンツ事業におきましても、リメイク化やゲーム化などの協議を行っていたものの案件成約に至っておりません。9月10日に発表しました第三者調査委員会の調査報告での指摘にありますように、AK100香港イベントのメインスポンサーとして、事業運営資金として拠出済みの前渡金29,206千円の損金処理をしております。

なお、詳細につきましては、本日発表の業績予想の修正をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

1. 継続企業の前提に関する重要な疑義を抱かせる事象又は状況が存在する旨及びその内容

当社グループは、前連結会計年度に引き続き、当第2四半期連結累計期間においても、111,566千円の営業損失、150,044千円の連結四半期純損失を計上し786,028千円の債務超過となっており、当社グループには継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

2. 当該事象または状況を解消し、改善するための対応策

①デザイン事業の収益向上

Webコマース事業においては、新ジャンルのコンテンツを新規投入するなど、ユーザーの更なる利便性向上を目的とした商品の見直しを行い、万全のサービス体制を整えて参ります。また、需要動向を把握し仮説検証に基づいたサービスをタイムリーに投入して参ります。具体的施策として今年5月に「ペイレスイメージズ株式会社」と高品質かつ低価格の写真素材定額サービスサイト『DEX 定額』の共同運営を開始しました。『DEX 定額』は幅広い業界のクリエイターをターゲットとした写真素材の定額制ダウンロードサイトで、当社の豊富な顧客基盤と「ペイレスイメージズ株式会社」の低価格かつ高品質の写真素材（35万点以上）という両社の強みを十分に生かしたサイトです。『DEX 定額』サイトは、期間ごとの料金設定となっており、ユーザーは同サイトでは一定価格で写真の大量使用ができ、サイト内の写真は1度ダウンロードすれば、条件の範囲内であれば半永久的に何度でも自由に使用でき、画像を大量かつ低コストで利用するユーザーにとっては最適サイトとなりました。このような当社の強みを生かした顧客への差別化戦略により収益改善を図って参ります。

サービス事業においては、マーケット開拓、既存顧客の安定化を図るべく法人向け素材の販売力を強化し、携帯機器各社への積極的なアプローチを仕掛けて参ります。

電子書籍事業においては、コンテンツの著作者や著作権元との許諾提携を拡大し、携帯電話サイトやパソコンサイトなど電子書店サイトへのコンテンツの提供数の増大を図ります。また、許諾提携を受けたコンテンツについては、電子書籍として活用するだけでなく、多種多様な企業・パートナーと協力し、新たなソリューションとしても提供して参ります。これらにより、販売サイト数や販売ジャンルの拡大を推進して参ります。

千社貼札事業においては、従来「株式会社ななせ」に自動販売機制作、設置先開拓、メンテナンスを任せてきました。しかし、今後は当社の持つコンテンツ開発力やインターネット活用力を生かした従来機種バージョンアップ、さらに首都圏中心の優良ロケーションでの稼働により収益改善を図っていきます。

②徹底したコスト削減

社内業務体制の効率化を検証し、徹底したコストの削減を図って参ります。また、財務基盤を強化するため、当社の経営理念及び経営方針にご理解とご賛同をいただき、外部からの資金調達を実行して参ります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|---------------|-------------------------------|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 19,824 | 46,928 |
| 受取手形及び売掛金 | 60,400 | 69,664 |
| 前渡金 | 30,000 | 29,206 |
| 短期貸付金 | 2,147 | 3,932 |
| 未収還付消費税 | — | 89,646 |
| その他 | 20,196 | 8,076 |
| 貸倒引当金 | △30,001 | △1 |
| 流動資産合計 | 102,566 | 247,452 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 21,041 | 25,585 |
| 減価償却累計額 | △4,544 | △3,173 |
| 減損損失累計額 | △16,497 | △22,412 |
| 建物(純額) | — | — |
| 工具、器具及び備品 | 317,699 | 316,371 |
| 減価償却累計額 | △170,541 | △170,541 |
| 減損損失累計額 | △147,158 | △145,829 |
| 工具、器具及び備品(純額) | — | — |
| その他 | 472 | — |
| 有形固定資産合計 | 472 | — |
| 投資その他の資産 | 45,750 | 45,674 |
| 固定資産合計 | 46,223 | 45,674 |
| 繰延資産 | 659 | 1,319 |
| 資産合計 | 149,448 | 294,445 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 12,936 | 16,593 |
| 短期借入金 | 2,500 | 4,900 |
| 未払金 | 551,670 | 554,990 |

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日) |
|--------------|-------------------------------|---|
| 未払法人税等 | 532 | 7,281 |
| 企業買収関連引当金 | 34,891 | 34,891 |
| その他 | 24,236 | 22,042 |
| 流動負債合計 | 626,767 | 640,699 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 287,653 | 299,222 |
| 退職給付引当金 | 3,389 | 3,113 |
| 長期支払手形 | 3,816 | 3,816 |
| 長期未払金 | 13,850 | 13,850 |
| 固定負債合計 | 308,708 | 320,002 |
| 負債合計 | 935,476 | 960,701 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,232,070 | 2,232,070 |
| 資本剰余金 | 352,788 | 337,788 |
| 利益剰余金 | △3,334,117 | △3,179,276 |
| 自己株式 | △42,989 | △42,989 |
| 株主資本合計 | △792,248 | △652,407 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △7,529 | △13,361 |
| 為替換算調整勘定 | 13,749 | △486 |
| 評価・換算差額等合計 | 6,220 | △13,848 |
| 純資産合計 | △786,028 | △666,256 |
| 負債純資産合計 | 149,448 | 294,445 |

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 201,703 | 171,014 |
| 売上原価 | 116,010 | 37,205 |
| 売上総利益 | 85,693 | 133,808 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1 342,230 | ※1 245,374 |
| 営業利益 | △256,537 | △111,566 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 93 |
| 為替差益 | | 13,321 |
| その他 | 339 | 525 |
| 営業外収益合計 | 341 | 13,943 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 466 | 147 |
| 為替差損 | 17,644 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 7,576 | — |
| その他 | 2,634 | 6,501 |
| 営業外費用合計 | 28,322 | 6,649 |
| 経常利益 | △284,517 | △104,271 |
| 特別利益 | | |
| その他 | 566 | — |
| 特別利益合計 | 566 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 3,757 |
| 貸倒損失 | 80 | 30,000 |
| 減損損失 | | 13,282 |
| 特別損失合計 | 80 | 47,039 |
| 税金等調整前四半期純利益 | △284,031 | △151,311 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,001 | △1,267 |
| 法人税等調整額 | 145 | — |
| 法人税等合計 | 1,146 | △1,267 |
| 四半期純利益 | △285,177 | △150,044 |

| | 前第2四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 98,890 | 85,071 |
| 売上原価 | 48,702 | 19,377 |
| 売上総利益 | 50,188 | 65,694 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1 160,163 | ※1 107,368 |
| 営業損失(△) | △109,975 | △41,673 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | — | 44 |
| 為替差益 | — | 16,996 |
| その他 | 528 | 512 |
| 営業外収益合計 | 528 | 17,553 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 114 | 123 |
| 為替差損 | △7,103 | — |
| 貸倒引当金繰入額 | 7,576 | — |
| その他 | — | 5,151 |
| 営業外費用合計 | 587 | 5,274 |
| 経常損失(△) | △110,034 | △29,394 |
| 特別利益 | | |
| その他 | 566 | — |
| 特別利益合計 | 566 | — |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | — | 3,757 |
| 貸倒損失 | 1 | 30,000 |
| 減損損失 | — | 1,083 |
| 特別損失合計 | 1 | 34,840 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △109,469 | △64,235 |
| 法人税、住民税及び事業税 | △15 | △610 |
| 法人税等調整額 | 145 | — |
| 法人税等合計 | 129 | △610 |
| 四半期純損失(△) | △109,598 | △63,625 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △284,031 | △151,311 |
| 減価償却費 | 108,048 | 1,490 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 7,613 | — |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △8,382 | 276 |
| 返品調整引当金の増減額(△は減少) | 514 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △1 | △49 |
| 支払利息 | 466 | 2,991 |
| 為替差損益(△は益) | 18,661 | 15,991 |
| 株式交付費償却 | 1,879 | 659 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 32,704 | 1,980 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 645 | — |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △1,816 | △3,656 |
| その他 | 41,101 | 14,467 |
| 小計 | △82,595 | △117,161 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1 | 49 |
| 利息の支払額 | △466 | — |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | 1,858 | 88,753 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △81,202 | △28,357 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | — | △472 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △27,915 | — |
| 保証金の返還による収入 | 1,358 | 3,064 |
| 著作権の取得による支出 | △2,500 | — |
| その他 | — | 1,784 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △29,057 | 4,376 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入れによる収入 | 23,900 | 5,600 |
| 短期借入金の返済による支出 | △31,200 | △8,000 |
| 新株式申込証拠金払込による収入 | 119,893 | — |
| 新株予約権の発行による収入 | 397 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 112,990 | △2,400 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △1,969 | △622 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 762 | △27,003 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 647 | 46,928 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | — | △100 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※1 1,409 | ※1 19,824 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

1. 継続企業の前提に関する重要な疑義を抱かせる事象又は状況が存在する旨及びその内容

当社グループは、前連結会計年度に引き続き、当第2四半期連結累計期間においても、111,566千円の営業損失、150,044千円の連結四半期純損失を計上し786,028千円の債務超過となっており、当社グループには継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

2. 当該事象または状況を解消し、改善するための対応策

①デザイン事業の収益向上

Webコマース事業においては、新ジャンルのコンテンツを新規投入するなど、ユーザーの更なる利便性向上を目的とした商品の見直しを行い、万全のサービス体制を整えて参ります。また、需要動向を把握し仮説検証に基づいたサービスをタイムリーに投入して参ります。具体的施策として今年5月に「ペイレスイメージズ株式会社」と高品質かつ低価格の写真素材定額サービスサイト『DEX 定額』の共同運営を開始しました。『DEX 定額』は幅広い業界のクリエイターをターゲットとした写真素材の定額制ダウンロードサイトで、当社の豊富な顧客基盤と「ペイレスイメージズ株式会社」の低価格かつ高品質の写真素材（35万点以上）という両社の強みを十分に生かしたサイトです。『DEX 定額』サイトは、期間ごとの料金設定となっており、ユーザーは同サイトでは一定価格で写真の大量使用ができ、サイト内の写真は1度ダウンロードすれば、条件の範囲内であれば半永久的に何度でも自由に使用でき、画像を大量かつ低コストで利用するユーザーにとっては最適サイトとなりました。このような当社の強みを生かした顧客への差別化戦略により収益改善を図って参ります。

サービス事業においては、マーケット開拓、既存顧客の安定化を図るべく法人向け素材の販売力を強化し、携帯機器各社への積極的なアプローチを仕掛けて参ります。

電子書籍事業においては、コンテンツの著作者や著作権元との許諾提携を拡大し、携帯電話サイトやパソコンサイトなど電子書店サイトへのコンテンツの提供数の増大を図ります。また、許諾提携を受けたコンテンツについては、電子書籍として活用するだけでなく、多種多様な企業・パートナーと協力し、新たなソリューションとしても提供して参ります。これらにより、販売サイト数や販売ジャンルの拡大を推進して参ります。

千社貼札事業においては、従来「株式会社ななせ」に自動販売機制作、設置先開拓、メンテナンスを任せてきました。しかし、今後は当社の持つコンテンツ開発力やインターネット活用力を生かした従来機種バージョンアップ、さらに首都圏中心の優良ロケーションでの稼働により収益改善を図っていきます。

②徹底したコスト削減

社内業務体制の効率化を検証し、徹底したコストの削減を図って参ります。また、財務基盤を強化するため、当社の経営理念及び経営方針にご理解とご賛同をいただき、外部からの資金調達を実行して参ります。

しかし、上記の対応策に関しては、営業施策面においては、計画どおりに推移しない可能性があるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

3. 四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映していない旨

四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、このような重要な疑義の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるデザイン事業の割合が、いずれも90%を超え

るため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるデザイン事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるデザイン事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるデザイン事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年6月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成22年1月1日至平成22年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。